



新任医師紹介

— Doctor introduction —

（よろしくお願ひします！）



特集 2023年度 診療科のご紹介

ごあいさつ ～地域医療連携広報誌「GENERALINK」～

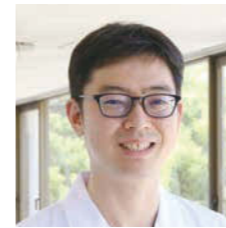


理事長
田中 岳史

日頃より当院の診療活動にご支援、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。地域の先生方との懸け橋を担う GENERALINK。今回は本年度の主な診療体制を改めてご紹介させていただきます。各診療科・医療センターは「地域になくならない病院になる」という私たちの病院理念のもと、地域の先生方に信頼され、満足される診療活動を目指して日々、努力に邁進しております。お陰様で数多くの大切な患者さまをご紹介いただき、良好な治療成績とともに順調に成長を続けさせていただいております。しかし一方では、当院の医師は 2018年の病院改革以降に集った医師が大半を占めており、まだまだ地域の先生方には認知、知名度が低い面もあるかと思ひます。この機会に是非各診療科、医療センターの活動をご高覧いただき、日常のご診療の一助となれば幸いと存じます。ご紹介いただきました患者さまにつきましては、急性期を過ぎた時点で逆紹介をさせていただきます、再び通いなれたかかりつけの先生方のもとで継続治療をお願いしたく存じます。その後も何かございましたらいつでも当院で対応をさせていただきます。こうして高機能で質の高い医療をもって、常に地域の先生方に寄り添い、お役に立てるよう尽力することこそが私たちの使命と考えております。ご不明な点、ご意見等ございましたら何なりと地域医療総合支援センターにお申し付けください。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

またこの春、消化器内科、総合診療科、婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科に新たに計9名の新任医師を迎えることができました。どの医師も各専門領域で最先端の研鑽を積んだ先生方です。私たちの病院理念に共感し、また社会貢献への高い志を持って、ここ神戸百年記念病院に集ってくれました。豊富な経験を活かし、地域医療の発展、健康街づくりの一翼を担ってくれるものと大いに期待しております。今後とも、どうぞよろしくご指導、ご鞭撻の程、お願ひ申し上げます。

消化器内科



石原 祐史
(いしはら ゆうじ)

- 専門 消化器内科
- 略歴 平成18年 広島大学医学部 卒業
- 資格 日本内科学会総合内科専門医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医

総合診療科



高田 史門
(たかだ しもん)

- 専門 総合診療科、腎臓内科、透析
- 略歴 平成21年 大阪市立大学 医学部医学科 卒業
- 資格 日本内科学会認定内科医
総合内科専門医
病院総合診療医学会認定医
Infection Control Doctor
禁煙サポーター

総合診療科



皆田 睦子
(みなた むつこ)

- 専門 一般内科、消化器内科、腫瘍内科
- 略歴 平成2年 大阪医科大学医学部 卒業
- 資格 日本消化器内視鏡学会専門医
日本内科学会総合内科専門医
日本肝臓学会肝臓専門医
日本医師会認定産業医
京都大学医学博士

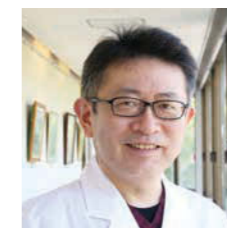
消化器内科



藤原 康弘
(ふじわら やすひろ)

- 専門 消化器内科、内科全般
- 略歴 平成26年 兵庫医科大学 卒業
- 資格 日本医師会認定産業医
JATECプロバイダーコース修了

婦人科



西尾 元宏
(にしお もとひろ)

- 専門 婦人科
- 略歴 平成7年 兵庫医科大学 卒業
- 資格 日本産科婦人科内視鏡学会技術認定医
日本内視鏡外科学会技術認定医

泌尿器科



竹丸 紘史
(たけまる ひろふみ)

- 専門 泌尿器科
- 略歴 平成28年 近畿大学医学部 医学科 卒業
- 資格 da Vinci certificate
緩和ケア研修修了

耳鼻咽喉科



藤木 惇也
(ふじき じゅんや)

- 専門 耳鼻咽喉科
- 略歴 平成29年 兵庫医科大学卒業

耳鼻咽喉科



柴田 朋美
(しばた ともみ)

- 専門 耳鼻咽喉科
- 略歴 平成30年 近畿大学医学部 医学科 卒業

総合診療科



広川 岳彰
(ひろかわ たかあき)

- 専門 総合診療科後期専攻医
- 略歴 令和2年 神戸大学医学部 卒業

循環器病センター



低侵襲な治療に特化し、最新の技術と手法を適用しています。



Feature

- ① ほぼ全ての症例において、冠動脈カテーテル検査・治療を遠位橈骨動脈アプローチ(DRA*)で行っています。複雑冠動脈疾患において、通常は大腿動脈アプローチで治療を行う難しい症例でも、積極的にDRAを適用しています。
- ② 高度石灰化病変には、ロータブレーターやダイヤモンドバックといった血管内石灰化粥腫切除カテーテルを用いて治療しています。
- ③ 四肢動脈疾患や腎動脈狭窄症にもDRAで積極的に治療を行っています。最近では、足首からのアプローチ(TAI*)により下肢動脈疾患の治療を行うことで患者さんの負担を軽減しています。
- ④ 循環器内科医は3名で、緊急カテーテルにも対応可能な体制を整えています。
*DRA: distal radial approach *TAI: trans ankle intervention

心不全や不整脈疾患などのご紹介も大歓迎です。みなさまからのご紹介をお待ちしております。



副院長 / 循環器病センター センター長 鈴木 秀治 (Shuji Suzuki)

糖尿病・リウマチ内科



副院長、内科部長 黒木 康雄 (Yasuo Kuroki)

心の理解から行動変容へ
コロナが落ち着いて教育入院再開します。



Feature

- ① 肥満2型糖尿病患者さんへのSGLT2阻害剤とGLP-1受容体作動薬の効果を検討しています。両薬とも体重、内臓脂肪、皮下脂肪の減少に有意な効果がありました。内臓脂肪面積に加えて3次元解析で内臓脂肪体積も測定できます！
- ② リウマチ専門医の加藤朱利医師は、リウマチ学会認定ソノグラファーの資格も持ち、関節エコーを用いたリウマチ疾患の診断や膠原病も含め生物学的製剤の活用、また、気管支喘息等のアレルギー疾患や骨粗鬆症の診療を、学会ガイドラインに基づいて行っています。
- ③ 高齢の糖尿病患者さんのADL低下や認知症による通院困難に対し、訪問診療を提供しています。ケアマネジャー、訪問看護師、薬剤師、ヘルパーと連携を取り、血糖管理だけでなく、なるべく自宅で過ごしていただくために生活環境の調整も行っています。

消化器内視鏡センター

年間9,000件を超える、地域トップレベルの内視鏡検査・治療実績を有しています。



消化器内科 部長、消化器内視鏡センター長 森主 達夫 (Tatsuo Morinushi)



Feature

2022年実績

上下部内視鏡検査	9,010件
内視鏡治療総件数	736件
大腸ポリプ切除術	472件
消化管出血止血術	82件
内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD)	85件
内視鏡的膵胆管造影 (ERCP)	63件
消化管ステント挿入術	3件
内視鏡的胃瘻造設術	26件 <small>ほか</small>

資格・学会認定施設

- ・日本消化器病学会指導医：1名
- ・日本消化器内視鏡学会指導医：1名
- ・日本肝臓学会指導医：1名
- ・日本消化器病学会専門医：7名
- ・日本消化器内視鏡学会専門医：6名
- ・日本肝臓学会肝臓専門医：3名
- ・日本消化器病学会認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本肝臓学会関連施設

消化器内科・消化器内視鏡センターとして、鎮静剤や特殊スコップを使用した苦痛のない精度の高い内視鏡検査から、内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)・内視鏡的逆流防止粘膜切除術(ARMS)など高度かつ先進的な内視鏡治療を専門的に実施しています。

総合診療科 腎臓内科



副院長、総合診療科 部長 安田 考志 (Takashi Yasuda)

当科は2022年4月に救急総合診療科として新設され、本年1月より内科医師も合流し、総合診療科として再編しました。また、腎臓内科専門医、指導医、透析専門医、指導医として、腎臓内科外来を開設しております。

01 総合診療科の役割・特長

- ・専門診療科以外の各種感染症(市中肺炎、誤嚥性肺炎、尿路感染)の治療、感染症重症病態(敗血症性ショックや人工呼吸器管理など)、不明熱診療(各種膠原病含む)などを対応。さらに、リハビリやレスパイト入院なども担当しています。
- ・2名の救急専門医が日中の救急対応をしています。
- ・同グループの腎臓内科と連携しています。
- ・コモンな疾患から、HCUでの重症患者管理、人工呼吸器管理、血漿交換なども対応しています。

02 腎臓内科・透析科、足病診療科

- ・腎臓内科は、かかりつけ医と2人主治医で併診します。タンパク尿や各種腎炎疑い→腎生検および治療 CKD→SGLT2阻害薬の新規導入 腎性貧血→HIF-PHD阻害薬の新規導入
- ・透析においては、手術時の透析管理や、シャント増設/PTA、また腹膜透析カテーテル留置を実施。今後は各外来を開設し、受け入れ窓口を広くする予定です。
- ・足病診療科は、足の総合診療科として対応。インソール作成、傷のためのダルコシューズも作成します。

整形外科



院長
朝田 尚宏
(Naohiro Asada)

Feature

「オールマイティな医療」を目指して。

01 最小侵襲での人工関節置換手術として、深屈曲が可能なMIS-TKAやMIS-THAによる手術症例を施行しています。

02 症例に合わせた股関節アプローチ(PL, AL)を選択します。

03 侵襲の少ない関節鏡視下手術(膝・肩)を施行します。肩はARCRIに対応しています。

04 関節リウマチに対する生物学的製剤やJAK阻害剤による集学的な治療を行っています。

05 頸椎は、後方椎弓形成術、前方椎体間固定術で行い、腰椎は、OLIFを用いた前方後方同時固定術で行っています。

診療実績

年度	骨折観血の手術(大腿)	人工骨頭挿入術	骨折観血の手術(大腿以外)	脊椎固定・椎弓切除・椎弓形成術	人工関節置換術	一時的創外固定骨折治療術
2019年度	60	21	55	49	47	6
2020年度	48	50	65	111	84	23
2021年度	33	73	74	97	81	24

泌尿器科



泌尿器科部長
森下 真一
(Shinichi Morishita)

Feature

2022年実績

01 結石疾患 上部尿路結石(腎結石、尿管結石)に対し ESWL(体外衝撃波碎石術).....104件
TUL(尿管鏡を用いた経尿道的尿管碎石術).....35件
下部尿路結石(膀胱、尿道)に対し経尿道的碎石.....6件

02 前立腺疾患 前立腺肥大症に対し経尿道的前立腺切除術.....26件
早期前立腺癌の診断のための前立腺生検.....60件

03 膀胱癌 経尿道的膀胱腫瘍切除術.....39件

ESWLは初回のみ1泊入院で、2回目以降は原則、外来日帰り手術です。高齢者に優しい手術を目指し、前立腺生検も1泊入院です。その他は、原則、内視鏡による低侵襲手術を1週間前後の日程で施行しています。

当科は、膀胱、尿道、尿管、副腎、腎臓などの男女尿路系疾患、および精巣、精巣上体、前立腺などの男性生殖器などの内分泌臓器を対象に診療を行っています。

加齢性の疾患である白内障や、緑内障の早期発見、早期治療に努めています。

眼科



萩原 正典
(Masanori Hagihara)

Feature

当科で最も多い手術は白内障手術です。

01 日帰り手術を段階的に開始！
患者さんのニーズに応えるため、7月より日帰り手術を段階的に開始しました。ご高齢の方で入院が不安であったり、家を空けることが難しいため日帰り手術を希望される患者さまにも対応できるようになります。

02 入院手術も引き続き対応！
総合病院である強みを生かし、通常の局所麻酔下の手術に加えて全身麻酔、鎮静下での手術も行っています。
(手術日：毎週水曜日と第2、4の火曜日)

外科

地域医療機関、
地域住民のニーズに
対し迅速に安心できる
医療を目指しています。



医局長、外科医長 小林 政義 (Masayoshi Kobayashi)
院長補佐、外科部長 西岡 昭彦 (Akihiko Nishioka)
副院長 中島 幸一 (Koichi Nakajima)
高橋 治海 (Harumi Takahashi)

01 消化器外科

- 悪性疾患においては、胃がん・大腸がんを中心に、鏡視下手術(腹腔鏡下)による低侵襲・短期入院の外科的治療と化学療法を含めた集学的治療を提供しています。地域医療への貢献とがん診療に力を入れています。
- 良性疾患では鼠径ヘルニアは専門外来を開設し多くの症例をご紹介頂いており、従来からの胆石症、肛門疾患、急性虫垂炎まで第一線の病院として、年間300例以上の手術を行っています。
- ハイケアユニットと透析室を設置し、より重症な症例を受け入れることが可能です。

02 乳腺外科

- 乳癌手術症例 2021年8例、2022年15例、センチネルリンパ節生検を施行しています。
- 6月よりトモシンセシス(乳腺断層撮影)機能付きマンモグラフィ装置を導入しました。微細石灰化症例、検診でのFAD、構築の乱れの要精査例について紹介いただければ精査および吸引式針生検が可能です。
- 神戸大学形成外科と連携して乳房再建(人工物)が可能となりました。(形成外科 外来も、毎週火曜午前と、木曜午後には神戸大学医師による診療をしています。)

耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科一般診療を中心に、
鼻・副鼻腔疾患の手術療法に
力をいれています。
睡眠時無呼吸症候群の検査、治療経験も豊富です。



前田 英美 (Emi Maeda)

Feature

- 01 耳鼻咽喉科専門医・指導医、補聴器相談医、味覚障害専門医が在籍しています。
- 02 アレルギー性鼻炎に対する外来でのレーザー治療や舌下免疫療法を行っております。
- 03 睡眠時無呼吸症候群に対しては検査を行い、CPAP、手術などそれぞれの状態に合わせて治療を選択しています。
- 04 専門外来として、補聴器外来、嚥下外来を開設しています。
- 05 手術件数(年間).....166件
・内視鏡下鼻副鼻腔手術、鼻中隔矯正術、下鼻甲介手術
・口蓋扁桃摘出術、アデノイド切除術、喉頭微細手術、頭頸部良性腫瘍摘出術など
睡眠時無呼吸症候群に対するPSG検査(年間)...93件